

中部E S D拠点運営委員会（第24回）議事メモ

日 時 平成22年2月12日（金）18時30分～20時30分

場 所 中部大学名古屋キャンパス（8-C号室）

出席者 竹内委員長、寺井、羽後、高山、今村、の各委員

事務局 古澤、岡本

議 事

1. 報告事項

○ 第3回伊勢三河湾流域圏フォーラムの報告

羽後委員より、去る1月24日（日）に、中部大学春日井キャンパスで、第3回伊勢三河湾流域圏フォーラムが開催され、無事に終了したことが報告された。今回は、生物多様性を主題に、東京など各地からの参加者があった。報告書は現在作成中であるため、でき次第配布する旨が伝えられた。

○ RCEアジア太平洋若者会議（4日）（古澤）

古澤事務局員より、2月2日から4日まで、インドで開催された国際会議への参加について報告があった。参加した学生は、中部大学の女子学生（1年生）1名。2日3日と開催されたYUVA Meet 2010は、気候変動に関する若者会議で、150名の参加の下、British Council Delhiを会場に、講演やワークショップなどの催しがあった。また、引き続き、4日にはTERI大学にてRCEアジア太平洋若者会議が開催された。

2. プロジェクトの進捗について（サイバー対話を中心に）

羽後委員から、サイバー対話の進捗状況が説明された。伊勢三河湾フォーラムの後、E S D関係者とCBD市民ネットのメンバーが集まり、打合せを行った。その中には、ひよこむというSNSを運営している和崎氏も同席していただき、協力を仰ぐこととなった。日本語版のサイバー対話の愛称は、「i-Dialog」となった。

古澤事務局員から、「i-Dialog」にかかる初期費用と3ヶ月分のランニングコストは、中部大学が支援することが学内で確認された旨が報告された。

3. 第4回中部E S D拠点連続講座について（3月5日開催予定：伊勢湾再生プロジェクト）

○ 高山委員より、第4回中部E S D拠点連続講座について案が提示された。伊勢湾再生に関わるテーマで、話題提供者は高山委員と竹峰三重大学研究員とし、司会を羽後委員、冒頭の挨拶を竹内委員長にお願いすることとなった。また、広報の関係上、2月16日（火）を目処に原案を事務局へ送ってもらうこととした。

4. 国内RCE実務者会議と国内RCE COP10会議の開催について

○ 国内RCE実務者会議と国内RCECOP10会議の日程調整について、意見交換を行い、中部ESD拠点としては、3月31日を希望日とすることとした。また、この日程で調整が付かない場合は、4月2日、7日、8日を候補日とし、事務局から国内RCEへ伝えることとした。

5. その他

○ 竹内委員長より、アースチャーターの理事会が開催された旨が報告され、その中で、ESD やRCEの事例を取り入れた本の作成案があることが報告された。

以 上